

20年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第6号
令和5年6月23日

関わり合いから『拍手』は生まれる。

校長 富塚 義幸

地区中学校総合体育大会は6月17日（土）、18日（日）開催されました。21日（水）の報告会では、全力を出し切り戦った部長の言葉が印象的でした。仲間と過ごした日々の振り返り、上位大会に向けての新たな決意など様々でしたが、凜として語る姿は全員が輝いています。「頼もしい」と実感しました。もう一つ、私が「すごいな」と実感したのは全校生の『拍手』です。各種目の表彰から結果の報告まで、何度も『拍手』をする機会がありました。その都度、心を含めた『拍手』が送られました。何気ないことですが、なんだか感激しました。昨年度、北村山地区の校長先生から『拍手』にまつわる話をお聞きしたことを思い出しました。紹介します。

『拍手…人間が生み出した叡智（優れた知恵）』

私は、自然に『拍手』が生まれる学校は“温かい学校”であると考えています。

(1) どんな時に『拍手』は生まれるのか？

- ① 感動がある時 →「あなたは、素晴らしい！」
- ② 感謝がある時 →「ありがとう！あなたのおかげで！」
- ③ 祝福がある時 →「おめでとう！本当によかったね！」
- ④ 期待がある時 →「よし、ともに頑張ろう！」



(2) 私の学校の日常には『拍手』があります。

- ① 授業で『拍手』あり …安心して発表できる場面がある証拠
- ② 集会で『拍手』あり …お互いの頑張りを認め合う場面がある証拠
- ③ 生徒会・学校行事・部活動で『拍手』あり …創造・挑戦する場面がある証拠

(3) 関わり合いがあるからこそ『拍手』は生まれます。

私は、生徒だけでなく先生方にも拍手を送ります！学校は、関わり合いの中で「人格の成長」を磨いていく場所です。生徒同士、生徒と先生、先生同士がとことん関わり合っています。保護者・地域の皆さんからも『拍手』をいただき学校を創っていきます。

その際、宗片(前)校長先生から「英国では、演奏会等の最初の『拍手』は激励の意、最後の『拍手』は感謝の意を含めること。『拍手』は相手への敬意の表れであること」も教えていただきました。改めて、葉山中学校に関わる皆さんに対し、感謝の意を含めて『拍手』を送ります。

<山形県中学校総合体育大会に出場するチーム・個人>

☆ 剣道 女子団体 女子個人：芦野明日香さん 芦野美桜さん 門脇愛桜さん

☆ 卓球 女子団体 女子個人：菊池詩夢さん 杉原美咲さん

☆ 陸上競技 四種競技・走高跳：高橋 湧さん 1年1500m：高橋 築さん

棒高跳：矢作友聖さん 古郡佑理さん 小松蒼空さん 1年100m：笹原実音さん

剣道部の芦野明日香さんは、「地区総体で、葉山中剣道部が一番優れていたのは『チーム力』です。例えば、アップ時の声出しや試合をしている人への全員応援、次に試合がある人への声掛けなど、みんなで試合に全力で向かっていきました。そういう姿がこのような結果へとつながったのだと強く感じています。県大会では、自分の技や攻め方をもう一度見直し、さらに自分を磨き入賞を狙います！」と力強く話してくれました。

6月のアルバム ～ いざ「正々堂々」「全力で」勝負！ ～

大会スローガン“今こそ輝け！！～最高の仲間と最高の瞬間に～”のもと、第63回北村山中学校総合体育大会が開催されました。出場できることや支えてくれた方々への感謝だけでなく、自分を表現する喜びを胸に戦いました。6月15日（木）壮行式での勇姿を特集します。



準備体操から声を出して
切磋琢磨
攻め方足の使い方技の正確さ、
手数を増やすための考へて練習
葉山完全優勝

